

II 評価書作成の趣旨

2022年度からの4年間を計画期間とする「静岡県教育振興基本計画（2022年度～2025年度）」（以下「基本計画」という。）では、本県教育の基本理念である「「有徳の人」の育成～誰一人取り残さない教育の実現～」を目指し、「有徳の人づくり宣言」に明示する柱に沿った3つの基本方向（大柱）の下、9つの重点取組（中柱）を掲げ、県と県教育委員会が一体となって教育施策を推進している。

この基本計画の進捗状況を確認し、施策の改善を図るため、評価書を毎年度作成するものである。

なお、本評価書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項により義務付けられている「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等」の報告書を兼ねる。

III 2024年度評価の方法

基本計画の上位計画である「静岡県総合計画」の評価方法に沿って、次のとおり評価を実施した。

今年度は4年間の計画期間の3年目に当たるが、来年度総合計画が改定されるのに伴い、基本計画も来年度中に改定される予定である。

評価方法としては、アウトカム指標である「成果指標」の評価を実施し、「目標」の達成に向けた施策の効果を測るとともに、進捗が遅れている指標については、その要因を分析した。また、基本計画に掲げた取組のうち、「目標」の進捗に影響の強い取組を中心に、計画期間中の「主な成果（取組状況）」を示すとともに、次期計画期間に向けた「今後の課題」、「今後の方向性」を示すことで、次期計画につながる内容の評価書とした。

※指標の評価基準は次ページに掲載した

IV 評価結果の概要

静岡県では、「「有徳の人」の育成～誰一人取り残さない教育の実現～」を目指し、基本計画に基づき、県と県教育委員会が連携し、「「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育」、「未来を切り拓く多様な人材を育む教育」、「社会総がかりで取り組む教育」の実現に取り組んでいる。

ICT活用の拡大や探究活動の充実など教育活動や教育環境の変化が続く状況の中、目標の達成に向けて様々な取組がなされていることが確認できた。

成果指標及び活動指標については、多くの指標は順調に進捗しているが、より一層の推進を要する指標も見られた。

こうした課題に対し、求められる支援は多様化しており、今回の評価も踏まえ、誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感するための基盤となる「誰一人取り残さない教育の実現」に取り組んでいく。

<指標の評価基準>

1 成果指標（維持目標以外）

区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

2 成果指標（維持目標）

評価区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
B	「現状値」が「目標値」の85%以上 100%未満のもの
C	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

3 活動指標（維持目標以外）

区分	進捗状況	判断基準
◎	前倒して実施	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの
○	計画どおり実施	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
●	計画より遅れており、 より一層の推進を要する	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの

4 活動指標（維持目標）

評価区分	判断基準
◎	「現状値」が「目標値」の115%以上のもの
○	「現状値」が「目標値」の85%以上 115%未満のもの
●	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

5 複数の数値目標を掲げている指標

評価区分		点数
成果指標	活動指標	
目標値以上	◎	5点
A		4点
B	○	3点
C		2点

平均により
目標全体の
評価を決定
→

評価区分		平均点
成果指標	活動指標	
目標値以上	◎	5.0点
A		4.0点以上 5.0点未満
B	○	3.0点以上 4.0点未満
C	●	1.0点超え 3.0点未満